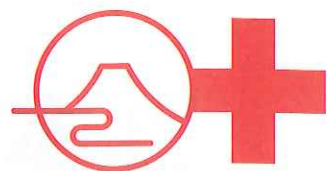


赤十字しずおか

Japanese Red Cross Society SHIZUOKA



2023
VOL. 132

回 覧

人間を救うのは、人間だ。

日本の青少年赤十字は、

[Junior Red Cross: JRC]

2022年に創設100周年を
迎えました。



JRCの目的は、子どもたちのやさしさと思いやりの心を育むとともに、主体的に行動する子どもを育てることです。

日本赤十字社静岡県支部は、新たな歴史をつくる取り組みとして、独自の教材を用いた防災教育プログラムの更なる普及や、差別や偏見のない社会づくりに向けた学校現場への情報発信などに努めています。

これからの社会を担う子どもたち一人ひとりが、時代の変化に応じ、自らが考え行動し、明るい未来をつくりあげていくことを目指し、取り組みを進めます。



つなぐ、つづける、つくる。

日本の青少年赤十字

創設100周年

未来のあなたへ、やさしさを。

やさしさと思いやりの心を育むことは、赤十字の精神である「人道」につながります。未来に向けて「気づき、考え、実行する」ことを大切に「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つの分野で実践活動を続けていきます。

この活動は、持続可能な世界をつくるための17の目標達成(SDGs)の一助となっています。



健康・安全

いのちと健康を大切にする

● 防災教育(炊き出し体験等)

地域赤十字奉仕団と協働する炊き出し体験を通して、防災・減災について考え、「自助」「共助」の大切さを学んでいます。



● 心肺蘇生などの講習

万が一の事故において、対応できるように心肺蘇生やAEDの使い方などを身に着けます。



奉仕

社会の一員として貢献する

● 環境美化

地域の方たちと協働し、身近な公園や海岸など、清掃活動に取り組んでいます。



● 医療従事者へのエール

新型コロナ感染者の治療にあたっている医師や看護師にメッセージを届けています。



国際理解
親善

世界に目を向けて助け合う

● 国際交流事業

海外の赤十字社を訪問したり、メンバーを日本に受け入れたりしています。コロナ禍では、オンラインで交流しています。



● 海外支援(募金活動等)

海外救援金や「NHK海外たすけあいキャンペーン」などの募金活動を実施しています。



静岡県青少年赤十字

これからの青少年赤十字活動に向けて

2022年11月13日に「青少年赤十字創設100周年記念 静岡県大会」を開催しました。永年にわたり活動を継続している学校や、作文コンクールの表彰を行ったほか、発足当時の加盟校の一つである静岡県立藤枝東高等学校が、自校のJRC活動の歴史を振り返り、今後は、地域における清掃活動等を行うこと、SDGsに係る活動を実施していくとの抱負を発表しました。また、加盟校有志のメンバーが、これからの青少年赤十字活動に向けて「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の分野で実践活動を続けていくことの決意と決意したことを続けることが、未来のあなたへやさしさを届けることにつながるというメッセージを発信しました。



▲ 県立藤枝東高等学校の発表の様子

メンバーからのメッセージ

健康・安全

島田市立島田第五小学校では

災害に備えて今わたしたちに何が出来るか考えたり、模擬体験や調べ学習を通して学んだ地震や火事等への対策を下級生に伝えたりしています。これからも、いのちを大切に、健康で安全な生活が送れるよう活動を続けていきます。

奉仕

三島市立北上中学校では

掲示板を使って参加を呼びかけ、学校周辺の河川の清掃活動を手伝ったり、地域の防災訓練や運動会、幼稚園のお祭りの運営を手伝ったりしています。これからも、奉仕のこころを大切に、地域やまわりの人の役に立つよう活動を続けていきます。

国際理解・親善

静岡県立清流館高等学校では

世界には災害や紛争、飢餓などにより大変厳しい環境下で暮らす多くの人々がいるという現状を理解し、その人々を支援するため、街頭募金を行っています。これからも、広く世界に目を向け、助け合いの輪を広げるなど、国際理解や親善に努めるよう活動を続けていきます。

JRCの成り立ち

第一次世界大戦中に、カナダ・アメリカ・オーストラリアの子どもたちが各赤十字社を通じて、兵士やその家族に包帯・被服・慰問品などを送る活動が、JRC誕生のきっかけでした。日本では、1922年にジュネーブで開催された赤十字社連盟総会で青少年赤十字に関する決議を受け、同年国内初の少年赤十字団が滋賀県の守山尋常高等小学校(現守山市立守山小学校)に結成されたのがはじまりです。現在は全国で約14,000(園)校で3,450,000人のメンバー、240,000人の指導者が活動しています。



▲ 兵士のために靴下を縫むオーストラリアの児童と教員(第一次世界大戦中)

静岡県のJRCの歩み

静岡県では第二次世界大戦後の1948年に、藤枝高校・志太高校・井通小学校・広沢小学校・浅間小学校・地名小学校の計6校、1,360人ではじまりました。2022年現在では、幼稚園保育園23園、小学校156校、中学校89校、高校99校、特別支援学校5校で計372校、約108,000人のメンバーが活動しています。



▲ 静岡県 第1回青少年赤十字大会(1965年)

災害への備えをしていますか？

1.15(日) ▶▶ 1.21(土)は

防災週間

各自ができる備え

1 身近な危険個所の確認

ハザードマップを見る。
自宅や職場から避難所まで歩く。
家の耐震化、家具の固定をする。

2 備蓄品の確認

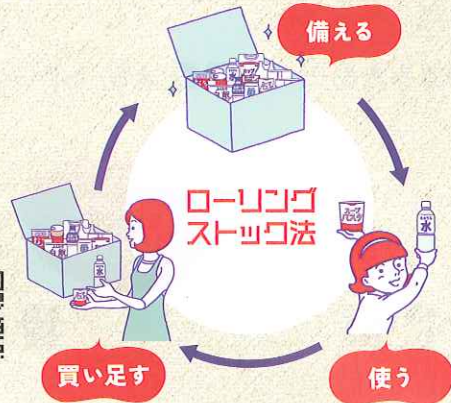
飲み水と食料は最低7日分。
簡易トイレなどを試しに使う。
ローリングストック法の実践。

3 けがや病気に備える

止血の方法などの応急手当を学ぶ。
絆創膏など手当に使うものをそろえる。
避難所での過ごし方のポイントを学ぶ。

避難所の過ごし方のポイントが学べる！

- 災害時高齢者生活支援講習
- 減災セミナー



日赤静岡県支部の備え

1 救護班の編成

発災時、速やかに対応できるように準備。

- 救護班(医師・看護師等).....11班
- 血液供給要員.....16名



2 県内の災害救援品の備蓄

被災者にいち早く届けられるように備えています。

- 毛布 ●緊急セット※1 ●タオルセット ●下着セット ●タオルケット
- 安眠セット※2 ●プライバシーテント



※1 被災下での生活に役立つ携帯ラジオ・懐中電灯・歯ブラシ等



※2 安眠を得るためのマット・エア枕・アイマスク・耳栓・靴下・スリッパ

3 防災ボランティアの育成

被災者の支援ができるよう、応急手当やこころのケアなどの研修を開催しボランティアの育成に努めています。

- 県内登録者数.....119名

PRESENT!

「紙製ファイル」と「ジッパーバッグ」を30名様にプレゼント!

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.132のご意見・ご感想
- ⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※回覧でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.132希望」とお書きください。
なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募方法

WEB



メール



koho@shizuoka.jrc.or.jp

郵送

〒420-0853
静岡市葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部
組織振興課

応募締切

令和5年2月28日(火)必着

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。



静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17

日本赤十字社

TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。